

1 - 1 北海道とその周辺の最近の地震活動(1985年12月～1986年5月)

Recent Seismic Activity in and around Hokkaido (December, 1985 - May, 1986)

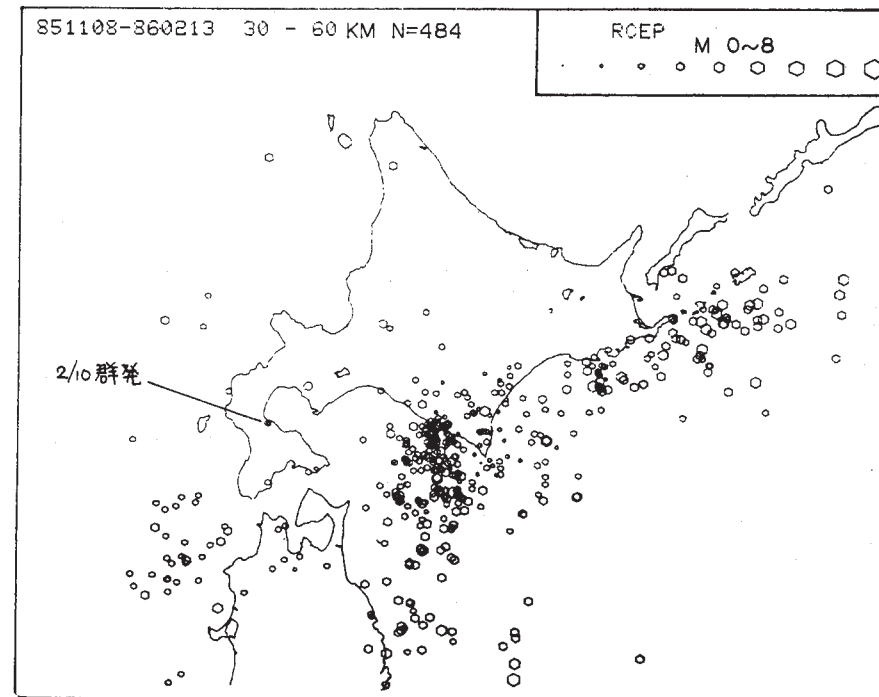
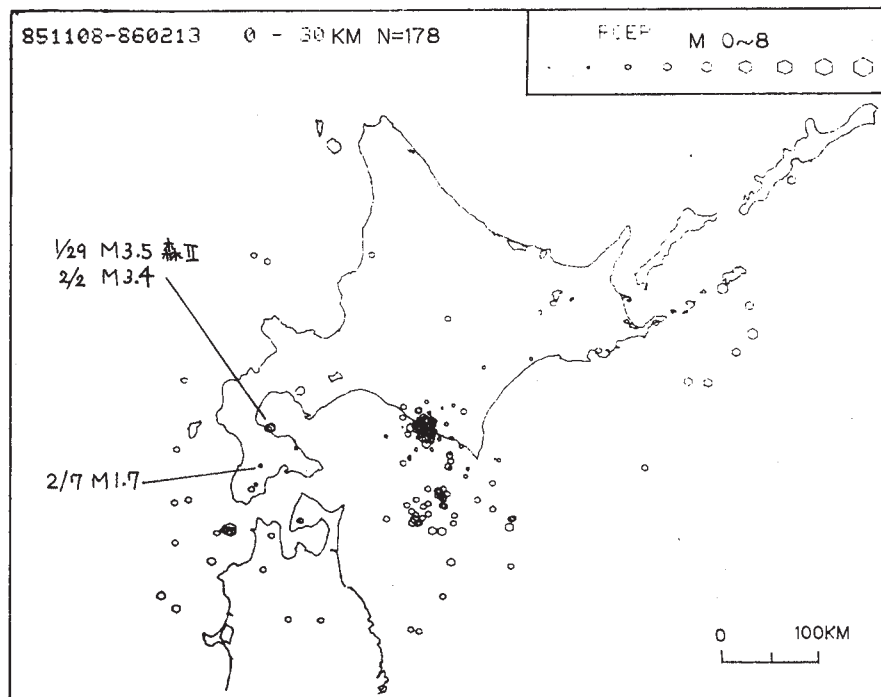
北海道大学 理学部
Faculty of Science, Hokkaido University

この期間の浅発地震の震央分布を第1図に示す。北海道東方沖で4月16日, 5月21日に各々M6.2の地震が発生するなど, 4月以降に太平洋沿岸で稍々大型の地震が発生するようになった。これらの地震は単発型で, 前震・余震ともほとんど観測されていない。

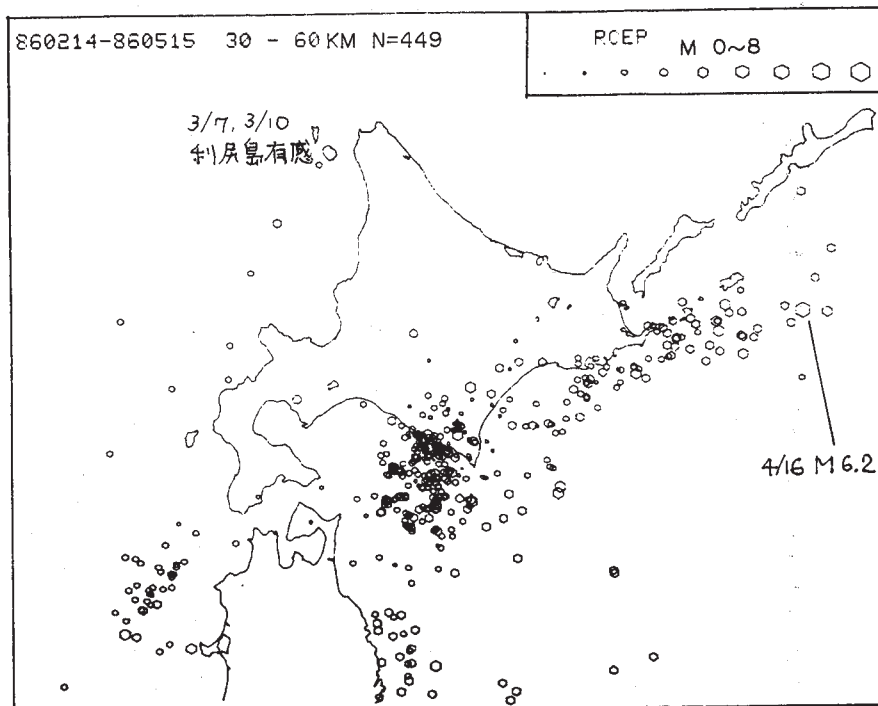
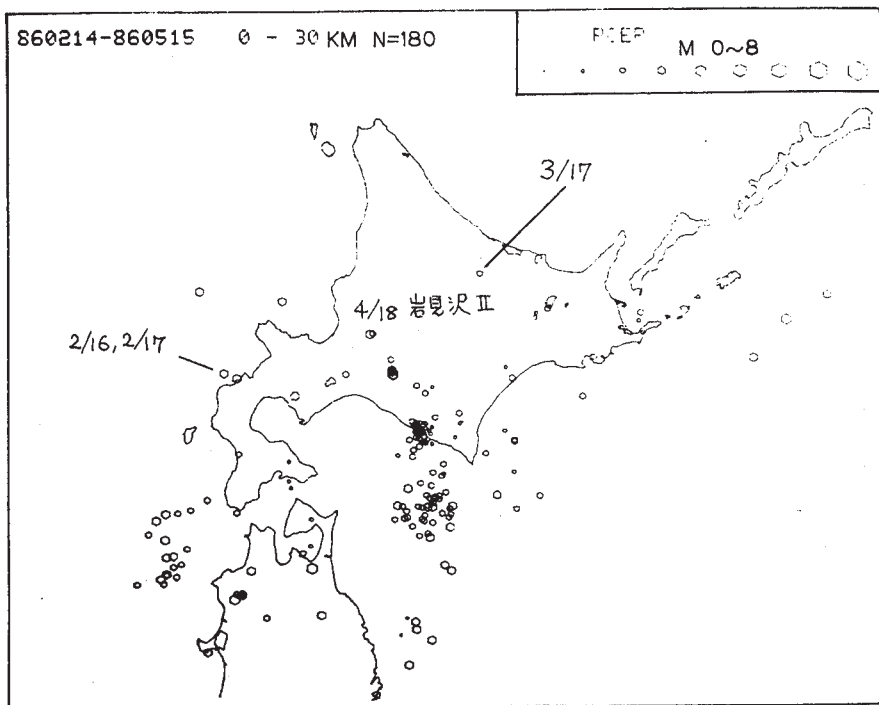
規模は小さいけれども, 内陸部の地震活動は引き続き活発であった。注目すべきものを以下にあげる。

- (1) 1月末から3月にかけて渡島半島の地震活動が活発であった。森町付近では有感地震を含む群発型地震活動があった。2月16, 17日に寿都付近で発生した地震は, 1967年以来のものである。
- (2) 2月末中旬から3月にかけて, 利尻島付近で何回かの有感地震があった。利尻島と礼文島付近では1908～1909年に地震が多発した記録がある。この付近は現在でも観測体制が充分ではなく詳細不明のことが多い。
- (3) 3月17日に北見山地に発生した微小地震は, 気象庁の地震観測を含めても観測史上初めてのものと思われる。北見山系の北東側は北海道の中でも特に地震のないところで, 先天的無地震地域ではないかと考えられている場所である。

(本谷 義信)



第1図 北海道とその周辺の浅発地震の震央分布
 Fig. 1 Epicenter distribution of shallow earthquakes in and around Hokkaido.



第1図 つづき
Fig.1 (Continued)